

京都大学大学院薬学研究科学修要項

(創発医薬科学専攻)

一 貫 制 博 士 課 程

1. 博士（薬科学）の学位を得ようとする者は、一貫制博士課程に5年以上在学して研究指導を受け、PQE、SQEともAスコアをとり、必修科目17単位、選択必修科目6単位、選択科目12単位、計35単位以上（別表1）を学修し、かつ博士論文を提出し、所定の審査及び試験に合格しなければならない。

なお、学修・研究について著しい進展が認められる者は、審査を経て、在学期間を最大2年短縮して学位を得ることができる。

2. 学生は希望する基盤科目および展開科目を受講することができる。ただし、基盤科目のうち1科目2単位以上、展開科目のうち4科目4単位以上の選択必修科目を履修しなければならない。

なお、学生が指導教員の承認を得て、本研究科の他専攻の講義や、本学の他研究科の講義を受講し、その単位を修得した場合には、研究科会議の議を経て、6単位以内は一貫制博士課程修了に必要な任意の選択科目の単位数のなかに含めて認定することができる。

3. 能力開発科目のうち薬学実験コーチング演習A・B各1単位、論文作成科目のうち研究倫理・研究公正0.5単位、薬学実験技術0.5単位、研究計画作文演習A・B各1単位、科学論文解読演習A・B各2単位、創発医薬科学研究A・B各4単位を必修とする。

4. 能力開発科目のうち薬学実験コーチング演習A・B、国際化スキルA・B、産学連携インターンシップA・Bの6科目、論文作成科目のうち研究計画作文演習A・B、科学論文解読演習A・B、創発医薬科学研究A・B・Cの7科目は、すべて通年科目であり、学生が専攻する分野を担当する教員が実施するものとする。

5. 成績評価は素点（100点満点）で行い、60点以上を合格とする。ただし、科目によっては、単に合格、不合格とする場合がある。

(別表1)

薬学研究科一貫制博士課程修得単位数表

科 目	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
基盤科目		2	2	4
展開科目		4	2	6
能力開発科目	2		2	4
論文作成科目	1 5			1 5
上記科目全体から任意の科目			6	6
計	1 7	6	1 2	3 5